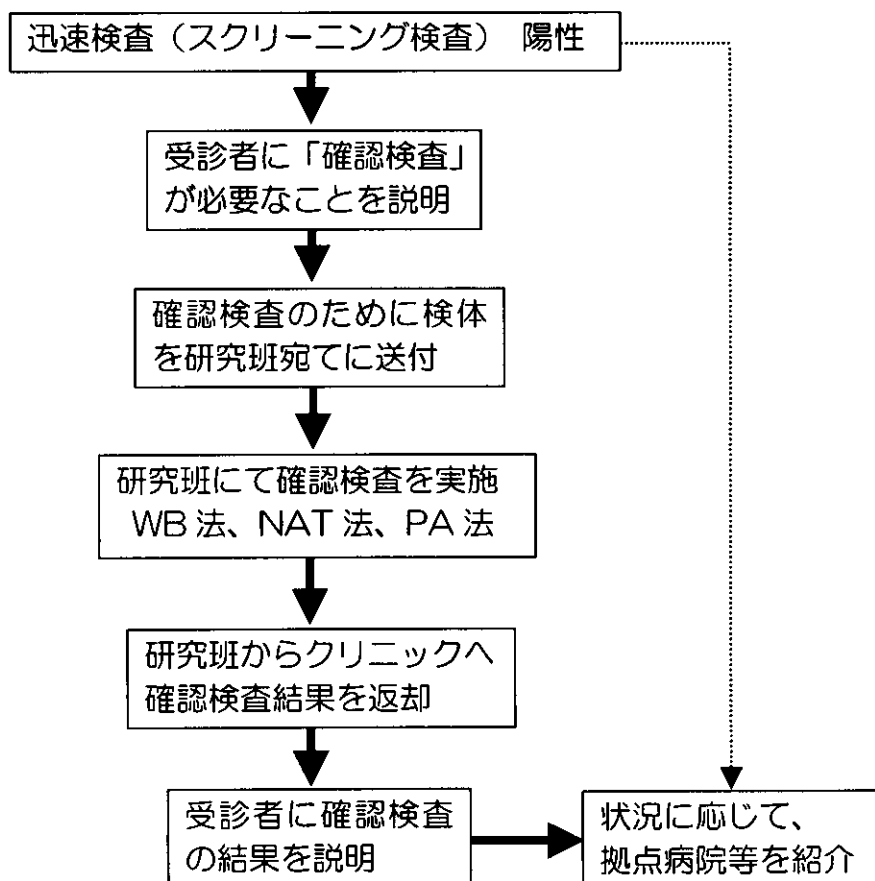


クリニックの先生方へ

迅速検査が『陽性』となった時のお願い

厚生労働省 HIV検査法・検査体制研究班

迅速検査の結果が『陽性』となった場合、迅速検査はあくまでもスクリーニング検査の結果であり、1%前後の偽陽性反応もあるため、必ず確認検査が必要です。このため迅速検査で陽性となった場合には、受診者にその旨を説明するとともに、必ず検体を研究班宛て（事務局：神奈川県衛生研究所）に送付するようお願いいたします。また状況に応じてスクリーニング検査の結果で病院等を紹介する場合には、受診者へのカウンセリングに十分留意していただくとともに、その場合も検体を必ず研究班宛てに送付していただけますようお願いいたします。検体はメール便にて、HIV検査依頼票を添付の上送付してください。



連絡先：HIV検査法・検査体制研究班事務局

神奈川県衛生研究所 ウイルス部 今井光信 imaim@d2.dion.ne.jp
 嶋 貴子 takawoo@hotmail.com

〒241-0815 横浜市旭区中尾 1-1-1

TEL 045-363-1030 FAX 045-363-1037

HIV 検査に関するアンケート

このアンケートは、HIV 検査システムをより良くするためにはどうしたらよいかを調べるために行っています。ご協力よろしくをお願いします。(プライバシーは守られます。)

★ 添付の封筒の中に入れて封をし、直接受付に渡すか、そのままご郵送下さい。★

次の各項目の当てはまる答えを○で囲んでください。

問1. あなたの性別・年齢を教えてください。(1つのみ)

性別：(男 ・ 女)

年齢：(10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60才以上)

問2. 今回の受診の目的は何ですか？

① 性感染症の症状が出たため治療して欲しい。

② 性感染症の治療のため前から通院中。

③ 念のため、性感染症の検査を受けたい。

★ ③の人 → 希望の検査は？

a. 性感染症の検査 (梅毒、淋病、クラミジア等)

b. HIV検査

c. 特定の検査希望はないが、必要な検査を受けたい

d. その他 ()

問3. 前にHIV検査を受けたことはありますか？

→ ある ・ ない

★ ある人 → どこで検査を受けましたか？(複数回答可)

① このクリニック ② 他の病院

③ 保健所 ④ その他 ()

問4. あなたは保健所でHIV抗体検査を無料で行っているのを知っていますか？

はい ・ いいえ

問5. 今までに輸血を受けたことはありますか？ → ある ・ ない

★ ある人 → (ヶ月前 ・ 年位前 ・ 分からない)

問6. 今までに献血をしたことはありますか？ → ある ・ ない

★ ある人 → (ヶ月前 ・ 年位前 : 今までにおよそ 回位)

問7. あなたは今回、HIV以外の性感染症(梅毒、淋病、クラミジア等)の検査を受けましたか？

受けない ・ 受けた

★ 受けた人 → 何の検査を受けましたか？(複数回答可)

① 梅毒 ② 淋菌 ③ クラミジア ④ ヘルペス

⑤ 尖圭コンジローム ⑥ トリコモナス ⑦ カンジダ

⑧ B型肝炎 ⑨ その他()

問8. あなたは今回、HIV検査を受けましたか？ またその理由を教えてください。

受けない ・ 受けた → どの検査を受けましたか？
a. 通常のHIV検査（結果は1週間後）
b. 迅速HIV検査（結果は30分後）

<理由>

受けない人 → ① 全く心配がないから ② 結果が怖い
(複数回答可) ③ 前に受けたから ④ 費用がかかるから
⑤ なんとなく ⑥ その他()

受けた人 → ① 感染が心配だから ② 念のため
(複数回答可) ③ 証明書が必要だから ④ その他()

問9. (HIV検査を受けた人へ)

① HIV感染(リスク)があったと思われる時期、場所などを教えてください。
時期は？ (月前 ・ 年位前 ・ 不明)

場所は？ → 国内 ・ 海外(どこの国ですか？)

相手について → <性別> 異性 ・ 同性
(それぞれに丸) <国籍> 日本人 ・ 外国人
<その他> いつもの相手 ・ 初めての相手 ・ 不明

② HIV検査(迅速検査、通常検査)についてどう思いますか？(複数回答可)
a. 迅速検査はすぐに結果が分かって良い
b. 保健所でも迅速検査を行って欲しい
c. 迅速検査を受けるのは不安
d. 通常検査の方が安心して受けられる
e. 通常検査は結果が分かるまでに1週間かかるので受けにくい。
f. その他()

問10. (迅速HIV検査を受けた人へ)

① この診療所が迅速HIV検査を実施していることをどこで知りましたか？

a. 「HIV検査・相談マップ」ホームページ
b. その他のホームページ(ホームページ名:)
c. 口コミ
d. ここに来て初めて知った
e. その他()

② 迅速HIV検査法ではHIVに感染していなくても100人に1人くらいは偽陽性(間違いの陽性)反応が出るので、確認検査が必要なことを知っていますか？

a. 前から知っていた
b. 先生からの説明で知った
c. 知らない

★ HIV検査に関する要望・希望等があれば、是非書いてください。何でも結構です★

< ご協力ありがとうございました。 HIV検査法・検査体制研究班 >

HIV検査に関するアンケート集計結果（北新宿同仁齋メディカルクリニック）

アンケート実施期間：平成14年6月27日～9月30日
 （検査者数：419名 回答者数：324名 回答率：75.5%）

問1 あなたの性別・年齢を教えてください。（1つのみ）

性別/年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	合計
男	2	122	116	27	5	1	273
	0.6%	37.7%	35.8%	8.3%	1.5%	0.3%	84.3%
女	1	27	11	1	0	0	40
	0.3%	8.3%	3.4%	0.3%	0.0%	0.0%	12.3%
不明	0	2	6	3	0	0	11
	0.0%	0.6%	1.9%	0.9%	0.0%	0.0%	3.4%
計	3	151	133	31	5	1	324
	0.9%	46.6%	41.0%	9.6%	1.5%	0.3%	100%

問2 今回の受診の目的は何ですか？

設問	回答数	%
①性感染症の症状が出たため治療して欲しい	6	1.8%
②性感染症の治療のため前から通院している	1	0.3%
③念のため、性感染症の検査を受けたい	292	90.1%
回答なし	25	7.7%
合計	324	100%

→ ③の人 希望の検査は？

分母324

設問	回答数	%
a. 性感染症の検査	43	13.3%
b. HIV検査	265	81.8%
c. 特定の検査希望はないが、必要な検査を受けたい	6	1.9%
d. その他	4	1.2%
回答なし	10	3.1%
合計	328	101.2%

問3 前にHIV検査を受けたことはありますか？

設問	回答数	%
ない	246	75.9%
ある	77	23.8%
回答なし	1	0.3%
合計	324	100%

→ ある人 どこで検査を受けましたか？

（複数回答可）

分母77

設問	回答数	%
①このクリニック	3	3.9%
②他の病院	35	45.5%
③保健所	36	46.8%
④その他	7	9.1%
合計	81	105.2%

問4 保健所の無料検査を知っていますか？

設問	回答数	%
はい	297	91.7%
いいえ	27	8.3%
回答なし	0	0.0%
合計	324	100%

問5 輸血を受けたことはありますか？

設問	回答数	%
ない	305	94.1%
ある	15	4.6%
不明	1	0.3%
回答なし	3	0.9%
合計	324	100%

問6 献血をしたことはありますか？

設問	回答数	%
ある	141	43.5%
ない	177	54.6%
回答なし	6	1.9%
合計	324	100%

時期	分母141	
設問	回答数	%
1年以内	17	12.1%
1～5年前	46	32.6%
5～10年前	29	20.6%
10年以上前	25	17.7%
回答なし	24	17.0%
合計	141	100%

回数	分母141	
設問	回答数	%
1回	23	16.3%
5回以内	44	31.2%
6回以上	13	9.2%
回答なし	61	43.3%
合計	141	100%

問7 今回HIV検査以外の性感染症検査を受けましたか？

設問	回答数	%
受けた	248	76.5%
受けない	75	23.1%
回答なし	1	0.3%
合計	324	100%

→ 受けた人 何の検査を受けましたか？(複数回答可)

設問	回答数	%
①梅毒	32	42.7%
②淋菌	16	21.3%
③クラミジア	43	57.3%
④ヘルペス	6	8.0%
⑤尖圭コンジローム	2	2.7%
⑥トリコモナス	1	1.3%
⑦カンジダ	4	5.3%
⑧B型肝炎	11	14.7%
合計	115	153.3%

問8 今回、HIV検査を受けましたか？

設問	回答数	%
受けた	300	92.6%
受けない	3	0.9%
回答なし	21	6.5%
合計	324	100%

→ どの検査を受けましたか

設問	回答数	%
通常検査	1	0.3%
迅速検査	275	91.7%
両方の検査	4	1.3%
検査不明	20	6.7%
合計	300	100%

→ 受けなかった理由は？(複数回答可)

設問	回答数
①全く心配ないから	1
②結果が怖い	0
③前に受けたから	0
④費用がかかるから	0
⑤なんとなく	2
⑥その他	0
合計	3

→ 受けた理由は？(複数回答可)

設問	回答数	%
①感染が心配だから	197	65.7%
②念のため	121	40.3%
③証明書が必要だから	8	2.7%
④その他	3	1.0%
回答なし	28	9.3%
合計	357	119.0%

問9 (HIV検査を受けた人へ)

① HIV感染(リスク)があったと思われる時期、場所などを教えてください。

分母300

(時期)	設問	回答数	%
	～2ヶ月以内	67	22.3%
	2～3ヶ月以内	73	24.3%
	3～6ヶ月以内	51	17.0%
	6ヶ月～	63	21.0%
	不明・回答なし	46	15.3%
	合計	300	100%

(場所)	設問	回答数	%
	国内	239	79.7%
	海外*	39	13.0%
	両方	2	70.0%
	回答なし	20	6.7%
	合計	300	100%

*海外 タイ11、中国5、台湾2、インドネシア2、ベトナム2、その他

(相手の性別)

設問	回答数	%
異性	248	82.7%
同性	31	10.3%
両方	3	1.0%
回答なし	18	6.0%
合計	300	100%

(国籍)

設問	回答数	%
日本人	209	69.7%
外国人	66	22.0%
両方	4	1.3%
回答なし	21	7.0%
合計	300	100%

(相手との経験)

設問	回答数	%
初めて	208	69.3%
いつも	31	10.3%
両方	2	0.7%
不明	14	4.7%
回答なし	45	15.0%
合計	300	100%

② HIV検査(通常・迅速検査)についてどう思いますか？ (複数回答可)

分母300

設問	回答数	%
a. 迅速検査はすぐに結果がわかってよい	275	91.7%
b. 保健所でも迅速検査を行って欲しい	172	57.3%
c. 迅速検査を受けるのは不安	20	6.7%
d. 通常検査のほうが安心して受けられる	10	3.3%
e. 通常検査は1週間かかり、受けにくい	102	34.0%
f. その他	5	1.7%
合計	584	194.7%

問10 (迅速HIV検査を受けた人へ)

分母 275+検査不明20

① この診療所が迅速HIV検査を実施していることをどこで知りましたか？

設問	回答数	%
a. 「HIV検査・相談マップ」ホームページ	232	78.6%
b. その他のホームページ	41	13.9%
c. 口コミ	8	2.7%
d. ここに来てはじめて知った	9	3.1%
e. その他	13	4.4%
合計	303	102.7%

② 迅速HIV検査では疑陽性が出るので確認検査が必要なことを知っていますか？

設問	回答数	%
a. 前から知っていた	185	62.7%
b. 先生からの説明で知った	10	3.4%
c. 知らない	100	33.9%
合計	295	100%

平成14年12月25日

栃木県県南健康福祉センター所長 殿
(栃木県県南保健所 所長)

厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業
HIVの検査法と検査体制を確立するための研究班
班長 今井 光信

保健所等における HIV 迅速抗体検査を用いた即日結果返しの
試験的導入研究について (依頼)

平素より、厚生労働省の研究事業にご協力いただき厚く御礼申し上げます。
さて、保健所における HIV 抗体検査数は年々減少傾向にあり、検査希望者にとって利便性が高く、より効果的な HIV 検査体制の確立が早急に求められています。その対応の一つとして、当研究班では HIV 迅速抗体検査キットを用いた即日結果返し (HIV 迅速抗体検査) を民間クリニックと共同で試験的に実施し、非常に多くの検査希望者に利用されております。このため、保健所等無料検査機関でも HIV 迅速抗体検査を試験的に実施していただき、その効果や問題点について研究を進めたいと考えております。

つきましては、栃木県県南健康福祉センターにおきまして、HIV 迅速抗体検査を試験的に実施していただきたく、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 研究内容 厚生労働省「HIVの検査法と検査体制を確立するための研究班」の研究課題である「保健所等における HIV 抗体迅速検査を用いた即日結果返し」を試験的に実施する。
- 2 実施期間 平成15年1月～平成15年3月
- 3 実施方法 HIV 抗体検査希望者のうち、迅速検査の希望者について HIV 抗体迅速検査を実施し、即日検査結果を報告する。また協力が得られた受検者にアンケート調査 (別添) を行い、HIV 抗体迅速検査の効果や問題点についての解析を行う。
- 4 使用器材等 HIV 抗体迅速検査に必要な検査キット、器材は研究班が提供する。当面、必要な検体数 (100 検体分) の検査キットおよび器材 (採血チューブ、ピペット、チップ等) を提供し、以後不足分については、研究班事務局で連絡を受けた後、適宜送付する。

- 5 ホームページへの掲載 当研究班で開設しているホームページ「HIV 検査・相談マップ」に貴保健所の HIV 検査についての詳細情報を掲載する。

HIV 検査法・検査体制研究班 事務局
神奈川県衛生研究所 ウイルス部 (担当：嶋)
電話： 045-363-1030 (内線 513)
FAX： 045-363-1037
E-mail： takawoo@hotmail.com

毎週水曜日に小山市内の保健所 (栃木県県南健康福祉センター)で エイズ検査(HIV検査)の即日結果返し を実施しています! (2003年1月から3月まで) **無料・匿名**

栃木県県南健康福祉センターでは、2003年1月よりHIV検査結果がその日のうちに分かる「HIV即日検査」を実施しています。
(2003年3月まで)

HIV即日検査: 毎週水曜日 13:00~14:00
(予約は必要ありません)

希望すれば他のSTD検査(クラミジア、梅毒)も一緒に受けられます。
(クラミジアの検査結果は翌週の金曜日です)

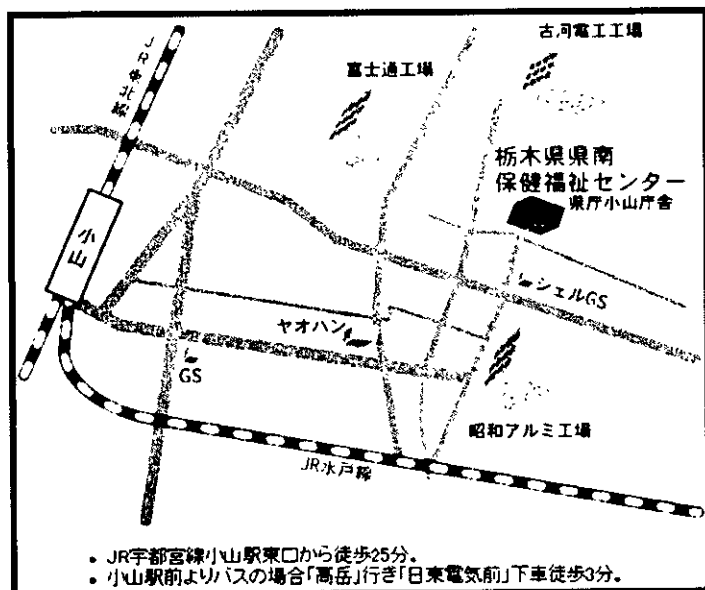
交通

JR小山駅から

- * バス「高岳」行き
「日東電気前」下車徒歩3分
- * 徒歩 東口から25分

連絡先

栃木県県南健康福祉
センター(県南保健所)
小山市犬塚3-1-1
TEL 0285-22-1219



- ・ JR宇都宮線小山駅東口から徒歩25分。
- ・ 小山駅前よりバスの場合「高岳」行き「日東電気前」下車徒歩3分。

詳細はホームページ <http://www.hivkensa.com> でも見られます。

H1N1 感染検査自己判明

県南健康福祉センターが導入

3月まで試験的に実施

小山本町の県南健康福祉センターで、エイズウイルス(HIV)に感染しているかどうかを、その場で簡便に検査できる「抗体検出用シート」を導入した。検査結果は、県南健康福祉センターの「H1N1検査センター」が実施したもので、医師による採血の簡便化は、検査センターは従来の検査に加え、3月まで試験的に実施していく。

この検査は、検査センター(2002年)に採血シートと抗体検出用シートを導入した。検査センターは、従来の検査に加え、3月まで試験的に実施していく。

検査センターは、検査センター(2002年)に採血シートと抗体検出用シートを導入した。検査センターは、従来の検査に加え、3月まで試験的に実施していく。

保健所では全国初

県南健康福祉センターで、エイズウイルス(HIV)に感染しているかどうかを、その場で簡便に検査できる「抗体検出用シート」を導入した。検査結果は、県南健康福祉センターの「H1N1検査センター」が実施したもので、医師による採血の簡便化は、検査センターは従来の検査に加え、3月まで試験的に実施していく。

検査センターは、検査センター(2002年)に採血シートと抗体検出用シートを導入した。検査センターは、従来の検査に加え、3月まで試験的に実施していく。

検査センターは、検査センター(2002年)に採血シートと抗体検出用シートを導入した。検査センターは、従来の検査に加え、3月まで試験的に実施していく。

2003年1月29日(水)
読売新聞(栃木版)

H1N1検査短縮 無料で即日通知

県南健康福祉センター

県内初、試験的に開始 抗体検出用シートを導入

県南健康福祉センターで、エイズウイルス(HIV)に感染しているかどうかを、その場で簡便に検査できる「抗体検出用シート」を導入した。検査結果は、県南健康福祉センターの「H1N1検査センター」が実施したもので、医師による採血の簡便化は、検査センターは従来の検査に加え、3月まで試験的に実施していく。

検査センターは、検査センター(2002年)に採血シートと抗体検出用シートを導入した。検査センターは、従来の検査に加え、3月まで試験的に実施していく。

検査センターは、検査センター(2002年)に採血シートと抗体検出用シートを導入した。検査センターは、従来の検査に加え、3月まで試験的に実施していく。

2003年1月23日(木)
下野新聞

HIV検査に関するアンケート

このアンケートは、HIV検査システムをより良くするためにはどうしたらよいかを調べるために行っています。ご協力よろしくお願ひします。(お答えいただいた内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。)

★ 添付の封筒に入れて封をし、保健所担当者に渡すか、そのままご郵送下さい。★

次の各項目の当てはまる答えを○で囲んでください。

問1. あなたの性別・年齢等を教えてください。(1つのみ)

性別：(男 ・ 女)

年齢：(10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60才以上)

居住地：(小山市内 ・ 県内 ・ 県外)

問2. 今回、HIV検査を受けた理由を教えてください。

- ① 感染が心配だから
- ② 念のため
- ③ 証明書が必要だから
- ④ その他 ()

★ ①、②を選んだ人へ →

HIV感染(リスク)があったと思われる時期、場所などを教えてください。

時期は? → (ヶ月前 ・ 年位前 ・ 不明)

場所は? → 国内 ・ 海外 (どこの国ですか?)

相手について → <性別> ----- 異性 ・ 同性
(それぞれに丸) <国籍> ----- 日本 ・ 外国
<その他> ----- いつもの相手 ・ 初めての相手

問3. あなたは今回、どちらのHIV検査を希望しましたか?

- a. HIV即日検査 (結果は即日返し)
- b. 通常のHIV検査 (結果は約1週間後)

★ a. HIV即日検査 (結果は即日返し)を受けた人へ →

a① HIV即日検査を希望した理由は何ですか? (複数回答可)

- a. できるだけ早く結果を知りたかったから
- b. 再度、保健所に結果を聞きに来る必要がないから
- c. 通常のHIV検査は結果が分かるまでに約1週間かかるから
- d. その他 ()

a② HIV即日検査はその日のうちに結果が分かりますが、陽性の時は確認検査が必要で、再度結果を聞きに来る必要があることを知っていますか?

- a. 前から知っていた
- b. 今回の保健所での説明で知った
- c. 知らない

a③ この保健所がH I V即日検査を実施していることをどこで知りましたか？

- a. 「H I V検査・相談マップ」ホームページ
- b. その他のホームページ（ホームページ名： ）
- c. メディア（ → テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、チラシ、ポスター ）
- d. 口コミ
- e. ここに来て初めて知った
- f. その他（ ）

★ b. 通常のH I V検査（結果は約1週間後）を受けた人へ →

b① 通常のH I V検査を希望した理由は何ですか？（複数回答可）

- a. すぐに結果を聞くための心の準備が出来ていなかったから
- b. 他の性感染症検査の結果と一緒に聞く方が良いと思ったから
- c. 他の保健所で実施されていない方法なので不安を感じたから
- d. あまりに結果が早く出る方法なので、信頼性に不安を感じたから
- e. その他（ ）

問4. 前にもH I V検査を受けたことはありますか？

ある ・ ない

★ ある人 → どこで検査を受けましたか？（複数回答可）

- ① この保健所
- ② 他の保健所
- ③ 病院、クリニック
- ④ その他（ ）

問5. あなたは今回、H I V以外の性感染症（梅毒、クラミジア）の検査を受けましたか？

受けた ・ 受けない

★ 受けた人 → 何の検査を受けましたか？（複数回答可）

- ① 梅毒
- ② クラミジア

問6. 今後H I V検査がどのような方法で行われると、より受けやすくなると思いますか？

- a. 保健所の平日検査の受付時間の延長（複数回答可）
- b. 夜間検査が受けられる無料H I V検査機関の増設
- c. 土曜・日曜検査が受けられる無料H I V検査機関の増設
- d. H I V即日検査が受けられる無料H I V検査機関の増設
- e. 交通の便の良いH I V検査相談室の増設
- f. H I V即日検査が受けられる民間クリニックの増設

問7. 今までに輸血を受けたことはありますか？ → ある ・ ない

★ ある人 → （ 月前 ・ 年位前 ・ 分からない ）

問8. 今までに献血をしたことはありますか？ → ある ・ ない

★ ある人 → （ 月前 ・ 年位前 :今までにおよそ 回位）

★ H I V検査を受けての感想、要望、ご意見等がありましたら是非お聞かせ下さい ★

< ご協力ありがとうございました。H I V検査法・検査体制研究班 > 栞

HIV検査に関するアンケート(栃木県)

別添資料6-2

実施期間: 2003年1月22日～3月26日

(アンケート配布数: 105名 回答者数: 83名 回答率: 79.0%)

検査日	検査者	アンケート配布数**	回答者数	迅速検査	通常検査	未回答者	アンケート回収率
1月8日	0	0	0	0	0	0	0.0%
1月15日	0	0	0	0	0	0	0.0%
1月22日	4	4	3	2	1	1	75.0%
1月29日	17	17	15	15	0	2	88.2%
2月5日	14	14	14	14	0	0	100.0%
2月12日	10 (1*)	9	5	5	0	5	55.5%
2月19日	14	14	12	11	1	2	85.7%
2月26日	7	7	5	5	0	2	71.4%
3月5日	13	11	6	6	0	7	54.5%
3月12日	11	10	8	8	0	3	80.0%
3月19日	8	8	8	8	0	0	100.0%
3月26日	11	11	7	7	0	4	63.6%
計	109	105	83	81	2	26	79.0%

*うち偽陽性数

** 日本語での応対が不可の受検者へは配布せず

問1 あなたの性別、年齢、居住地を教えてください

性別/年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60才以上	計
男	0	26	19	8	4	0	57
	0.0%	31.3%	22.9%	9.6%	4.8%	0.0%	68.7%
女	0	14	8	0	3	1	26
	0.0%	16.9%	9.6%	0.0%	3.6%	1.2%	31.3%
不明	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	0	40	27	8	7	1	83
	0.0%	48.2%	32.5%	9.6%	8.4%	1.2%	100.0%

居住地	人数	%
県内	67 (6)	80.7%
県外	14	16.9%
回答なし	2	2.4%

()は小山市内

問2 今回HIV検査を受けた理由を教えてください

複数回答可
分母83

	人数	%
①感染が心配だったから	54	65.1%
②念のため	31	37.3%
③証明書が必要だから	1	1.2%
④その他	3	3.6%

→①、②を選んだ人のみ回答

HIV感染リスクがあったと思われる時期、場所、経験を教えてください。

時期は？

時期	人数	%
2ヶ月以内	13	15.7%
3ヶ月以内	14	16.9%
4～6ヶ月以内	12	14.5%
6ヶ月以上	32	38.6%
不明	8	9.6%
回答なし	4	4.8%

←男性 1 女性 3

場所は？

場所	人数	%
国内	74	89.2%
海外	4	4.8%
回答なし	5	6.0%

←男性 3
女性 2

相手について 性別

相手の性別	人数	%
異性	73	88.0%
同性	2	2.4%
回答なし	8	9.6%

←男性 6
女性 2

相手について 国籍

国籍	人数	%
日本人	57	68.7%
外国人	13	15.7%
両方	2	2.4%
回答なし	11	13.3%

←男性 7
女性 4

相手について 関係

関係	人数	%
いつも	11	13.3%
初めて	52	62.7%
回答なし	19	22.9%
不明	1	1.2%

←男性 10
女性 9

問3 あなたは今回どちらのHIV検査を受けましたか。

	人数	%
a. 即日検査	81	97.6%
b. 通常検査	2	2.4%

→a. HIV即日検査を受けた人のみ回答

a①HIV即日検査を受けた理由はなんですか？ 複数回答可 分母81

	人数	%
a. できるだけ早く結果を知りたかったから	67	82.7%
b. 再度保健所に結果を聞きにくる必要がないから	26	32.1%
c. 通常のHIV検査は結果が分かるまでに約1週間かかるから	16	19.8%
d. その他	1	1.2%

a②HIV即日検査で、陽性の時は確認検査が必要で、再度結果を聞きにくる必要があることを知っていますか？

	人数	%
a. 前から知っていた	25	30.9%
b. 今回の保健所の検査で知った	44	54.3%
c. 知らない	9	11.1%
回答なし	3	3.7%

a③この保健所がHIV即日検査を実施していることをどこで知りましたか？

	人数	%
a. 「HIV検査・相談マップ」ホームページ	39	48.1%
b. その他のホームページ	0	0.0%
c. メディア	30	37.0%
d. 口コミ	2	2.5%
e. ここに来て初めて知った	3	3.7%
f. その他	6	7.4%
回答なし	1	1.2%

日付け別

	合計	相談マップ	他のHP	メディア	口コミ	ここに来て	その他	不明
1月22日	3	1	0	0	0	0	1	1
1月29日	15	6	0	7	0	1	1	0
2月5日	14	4	0	7	1	1	1	0
2月12日	5	1	0	4	0	0	0	0
2月19日	12	8	0	3	0	0	1	0
2月26日	5	2	0	2	0	1	0	0
3月5日	6	3	0	3	0	0	0	0
3月12日	8	2	0	4	1	0	1	0
3月19日	8	7	0	0	0	0	0	1
3月26日	7	5	0	0	0	0	2	0

1/23(木)
下野新聞
1/29(水)
読売新聞

→b. 通常検査を受けた人のみ回答

b①通常のHIV検査を希望した理由はなんですか？ 複数回答可 分母2

	人数	%
a. すぐに結果を聞く心の準備ができていなかったから	0	0.0%
b. 他の性感染症検査の結果と一緒に聞くほうが良いと思ったから	1	50.0%
c. 他の保健所で実施されていないため不安を感じたから	0	0.0%
d. あまりに早く結果がでる方法なので、不安を感じたから	0	0.0%
e. その他	1	50.0%

問4 前にもHIV検査を受けたことがありますか？

	人数	%
ある	14	16.9%
ない	68	81.9%
回答なし	1	1.2%

→ある人のみ回答 どこで検査を受けましたか？

分母14

	人数	%
①この保健所	4	28.6%
②他の保健所	5	35.7%
③病院・クリニック	5	35.7%
④その他	0	0.0%

問5 あなたは今回、HIV検査以外の検査を受けましたか？

	人数	%
受けた	51	61.4%
受けない	31	37.3%
不明	1	1.2%

→受けた人のみ回答 何の検査を受けましたか？ 複数回答可

分母51

	人数	%
梅毒	48	94.1%
クラミジア	25	49.0%

問6 今後HIV検査がどのような方法で行われると、より受けやすくなると思いますか？ 複数回答可

	人数	%
a. 保健所の平日検査の受付時間の延長	25	30.1%
b. 夜間検査が受けられる無料HIV検査機関の増設	36	43.4%
c. 土曜・日曜検査が受けられる無料HIV検査機関の増設	41	49.4%
d. HIV即日検査が受けられる無料HIV検査機関の増設	40	48.2%
e. 交通の便の良いHIV相談室の増設	5	6.0%
f. HIV即日検査の受けられる民間クリニックの増設	12	14.5%
回答なし	3	3.6%

問7 今までに輸血を受けたことがありますか？

	人数	%
ある	8	9.6%
ない	74	89.2%
不明	1	1.2%

→ある人のみ回答
いつ頃受けましたか？

分母8

時期	人数	%
1年以内	0	0.0%
1～5年以内	0	0.0%
5～10年以内	4	50.0%
10年以上	3	37.5%
不明	1	12.5%

問8 今までに献血をしたことはありますか？

	人数	%
ある	53	63.9%
ない	30	36.1%
不明	0	0.0%

→ある人のみ回答
いつ頃、何回くらい受けましたか？ 分母53

時期	人数	%
1年以内	9	17.0%
1～5年以内	26	49.1%
5～10年以内	8	15.1%
10年以上	4	7.5%
不明	6	11.3%

回数	人数	%
1回	9	17.0%
5回	17	32.1%
6回以上	6	11.3%
回答なし	21	39.6%

<HIV検査に関する要望・希望・意見>

- * 本当に感染していると思われる人は、怖くて検査を受けられないと思う。妊娠反応薬のように自分で検査できるように将来なれば皆受けると思う。
- * このような検査を確立して頂いた事に感謝します。
- * 市町村で無料検査を受けられることを希望する。
- * 受け付け、他で聞いても「エイズ検査をうける場所が分からない」、「どこだろう」という返事があった。内部でもっと徹底して準備をしてほしい。
- * 即日に分かるので不安の期間が短いのが良い。
- * 国民全員の検査をすると良いと思う。
- * これからも続けてください。ありがとうございました。
- * 即日検査はとても良いことです。又、夜間検査の増設が待ちどしい。
- * とても親切に応援して下さったので、安心して検査を受ける事が出来ました。検査を受けるために仕事を休まなくてはならなかったもので、土日に来ればと思いました。
- * 即日検査を続けてほしい。

3. HIVの検査法と検査体制を確立するための研究：

東日本の衛生研究所への遺伝子検査の導入を中心に 東京地区におけるHIV感染の遺伝子血清疫学的研究

分担研究者 関根大正（東京都立衛生研究所）
研究協力者 貞升健志、中村敦子、村田以和夫（東京都立衛生研究所）
山口 剛（東京都南新宿検査・相談室長）
笹井 敬子（台東区台東保健所）
城所敏英（中野区中野区保健所）

研究概要

1991年1月より2002年12月までの間に都内保健所のHIV抗体検査希望者127,338件から141件、都のM検査・相談室を受診したHIV抗体検査希望者67,803件からの408件の抗体陽性者を検出した。2002年は保健所の検査件数は前年よりも約2,500件減少し7,234件だったが抗体陽性件数は前年の15件から過去最多の36件へと増加した。M検査・相談室の検査件数は約600件減少し、7,367件だったが陽性件数は前年の71件から82件に増加した。性別の判明した109件のうち106件が男性、3件が女性だった。年齢階層は20歳代、30歳代が多く、この2つの年齢層で年齢階層判明107件中の91件を占めた。抗体陽性49件のサブタイピングを行ったところサブタイプBが47件、サブタイプDが1件、サブタイプEが1件だった。遺伝子検査を前年と同様実施したところM検査・相談室では平均受診件数は抗体検査単独実施時期には29件、遺伝子検査導入期間には37.9件だった。A、Bの2保健所では遺伝子検査を前年度から引き続き2002年9月まで実施したところ、その期間の平均受診件数はA保健所で6.8件、B保健所で6.7件と過去最多であった。抗体陰性でHIV遺伝子の検出された例はなかった。

A. 研究目的

研究目的は東京地区の一般の住民におけるHIV感染の浸透度を血清疫学的・遺伝子学的に検索すること、及び、従来の抗体検査に加えて遺伝子検査（核酸増幅検査）導入の効果を検討することである。

B. 研究方法

1. 抗体検査

1991年1月より2002年12月末日の間、都内保健所、東京都M検査・相談室でのHIV抗体検査希望受診者より採血した検

体の抗体検査を実施した。1991年はスクリーニング検査はELISA法、確認検査はIF法とウエスタンブロット法でHIV-1型に対するキットを用いて行った。1992年1月より1993年7月の期間はスクリーニング検査はHIV-1及びHIV-2のELISA法で、確認検査はHIV-1のIF法とウエスタンブロット法で行った。

1993年8月以後はスクリーニング検査と確認検査のウエスタンブロットはHIV-1及びHIV-2のキットを用いて行った。スクリーニング検査は一次スクリーニングを

パスツール社のH I V - 1 及びH I V - 2 の E L I S A で、一次スクリーニングで陽性のものにはH I V - 1 及びH I V - 2 のP A 法を二次スクリーニングとして実施した。二次スクリーニングで陰性でないものについては、H I V - 1 及びH I V - 2 のウエスタンプロット並びにH I V - 1 のI F を行った。

1996年4月以後は一次スクリーニング検査陽性のものについての二次スクリーニングに、従来のP A 法に加えて、ヘキスト社のH I V - 1 及びH I V - 2 のE L I S A を実施し、二次スクリーニングで一法以上が陽性の場合には確認検査を行うこととした。

2. ペプチドELISA法によるサブタイプ解析

2002年の保健所・検査・相談室受診者由来陽性血清のうち118件のうち49件に対して、ペプチドELISA法を用いて、サブタイプ解析を行った。使用したペプチドは、B (K R K R I H I G P G R A F Y T T K N I I)、E (T R T S I T I G P G Q V F Y R T G D I I) である。ELISAで反応しないものに対してはPCR産物をシークエンスして型別を行った。

3. 抗体検査受診者へのH I V 遺伝子検査

H I V 感染者の確認法としては世界的に抗体検査が用いられてきたが、H I V 感染者の増加も一因として、抗H I V 抗体の上昇以前のH I V 感染者からの輸血による感染が報告され、日赤など一部において遺伝子検査の導入が検討されたり、実施されたりしている。

都内のH I V 抗体検査実施3機関 (M検査・相談室、A保健所、B保健所) において、受診時に書面にて遺伝子検査の意義を紹介するとともに、遺伝子検査の希望の有無を確認し、希望者に抗体検査に加えて遺伝子検査を実施し、抗体検査の結果と併せて遺伝検査の結果を知らせることとした。

本年度はM検査検査・相談室の受診者は前年と同じく、9月より2月まで遺伝子検査を

実施し、A及びB保健所では3月以降も引き続き遺伝子検査を9月まで実施した。

検査方法は血清100 μ l を数件~10件分を1本のチューブにプールし、15,000回転、2時間、遠心してウイルス粒子を沈渣にしたものからウイルスRNAを抽出し、R T - P C R 法によってH I V 遺伝子を増幅したものを検出した。プールしたものからH I V 遺伝子が検出された場合は、それぞれの検体に対するR T - P C R を実施し、H I V 遺伝子陽性のものを確定することとした。

C. 研究結果

1. 抗体検査

表1に示すように都内保健所のH I V 抗体検査受診者数は92年の約30,000件、93年の24,000件をピークに以後97年まで減少傾向を示し、97年~2000年は5,000件代が4年続き、2001年にウイルス性肝炎の検査同時実施の影響で一時的な増加を示した。

2002年は7000件代で97年~2000年よりは多い。2002年の増加には性感染症の検査の同時実施が影響している可能性がある。抗体陽性件数は92年の21件以後、数件~十数件で推移してきたが、2002年は36件とこれまでに急増した。

M検査・相談室は93年に事業が開始され、93、94年は月平均約600件だったのが95年は月平均500件弱まで減少したが、それ以後検査件数は2000年まで増加傾向を示した。2001、2002年は前年よりもそれぞれ減少している。

M検査・相談室の抗体陽性件数は2000年に一度足踏みした以外は着実な増加傾向を示し2002年は過去最多の82件であった。

2. 保健所、検査相談室受診陽性者の年齢・性別

2002年の抗体陽性者のうち性別の判明

したものの109名の中、男性が106名、女性が3名であった。年齢階層別では20歳代、30歳代が多く、全体の80%以上を占める(表2)。

3. サブタイプ解析

サブタイプ解析は118件中49件までの結果がでている。49件中B型が47件、E型が1件、NR型が1件であった。NR型はシークエンスの結果D型であることが確認された。

4. 遺伝子検査(核酸増幅検査)

遺伝子検査はA、B両保健所では2002年3月から2002年9月まで実施したが、M検査・相談室では2002年9月から2003年2月まで実施した。

M検査・相談室では抗体検査のみ実施した2002年3月から8月の期間の平均受診件数は29件であったが、2002年9月から2003年2月の期間の平均受診件数は37.9件であった。この期間の受診者720件のうち705件が遺伝子検査を希望し実施した。

2002年3月から8月までの期間、A保健所の平均受診件数は6.8件で受診者総数88件中83件が遺伝子検査を希望した。

同じ期間B保健所の平均受診件数は6.7件で受診者総数87件中73件が遺伝子検査を希望した。

遺伝子検査を実施したうち、抗体検査が陰性でHIV遺伝子が検出される例はなかった。

D. 結論及び考察

抗体検査に関しては、保健所の抗体陽性者が36件と過去最多であった。M検査・相談室には及ばないものの、2002年は抗体検査約200件に1件の陽性件数である。M検査・相談室と比較すると、M検査・相談室は受診件数が2001年、2002年と連続して前年より減少した。一方保健所の受診件数

は2002年は2001年よりは減少したものの97年~2000年の5000件代よりはかなり多い。2001年、2002年と抗体陽性件数が何倍にも増加していること、他の性感染症の検査を保健所では実施しており、M検査・相談室ではその実施が限られていることと考え併せると、従来ならばM検査・相談室を受診していたハイリスクの受診者が保健所を受診した結果、多くの抗体陽性者が検出された可能性も示唆される。

抗体陽性者は性別が判明したものでは男性106件、女性3件と昨年までにひき続き、男性が圧倒的に多い。

年齢階層では20歳代、30歳代が多く、これもこの数年の傾向と同じである。

サブタイプがB型が大部分でE型やその他が少しというのもこの数年と同じ傾向である。

遺伝子検査の導入による受診件数はM検査・相談室では実施した4年のいずれの年も遺伝子検査実施期間はその前の抗体検査単独期間に比べ30~50%増加し、遺伝子検査を止めると再び減少するというパターンを繰り返す現象が見られた。4年目にあたる今年度は上に述べたように受診者が保健所にシフトした可能性があり、全期間を通して受診件数は減少気味だったが、それでも遺伝子検査実施期間には30%の増加が認められた。

A、B両保健所では導入した1年目は遺伝子検査導入により受診件数はむしろやや減少したが、B保健所で積極的に広報した2年目の昨年度はB保健所において50%以上の増加が見られた。以上の結果から遺伝子検査の導入に受診者を増やす効果があることは明らかであろう。

今年度は保健所の遺伝子検査を年度の変わり目も継続して9月まで実施した。結果はA、B両保健所とも過去最多の受診件数であった。この理由としては、遺伝子検査を継続して実施したためB保健所はもちろんのこと、A保健所においても遺伝子検査実施を受診者が知

るようになったため受診者が増加した面と、
両保健所が性感染症の検査を実施しているこ
とにより受診者が増加した面の両方の因子が
影響していると思われる。

なお、4年間で3機関で合計4026件の
遺伝子検査を実施したが抗体が陰性でH I V
の遺伝子の検出される例はなかった。抗体陽
性率の高いハイリスクの集団と思われるM検
査・相談室の受診者においてもウインドウ期
の感染者は確認されなかった。

論文発表

山口剛、関根大正他：東京都におけるH I
V抗体検査へのH I V遺伝子検査導入の検討、
日本感染症学会誌、投稿中。

学会発表

貞升健志他：H I V - 1抗体陽性者血清中
の逆転写酵素遺伝子の解析、地方衛生研
究所全国協議会。第17回関東甲信静ウイル
ス研究部会、2002。